

地域再生計画評価調書

計画の名称	町田市まち・ひと・しごと創生推進計画	事業の名称	町田市まち・ひと・しごと創生推進事業
-------	--------------------	-------	--------------------

★基本目標 1

目標の名称		経済活動を盛んにする		関連事業の名称	経済活動を盛んにする事業			
事業概要		商業を中心とした産業の育成や起業の促進などを通じて、時代のニーズに応じたサービスを生み出し、地域で働ける環境をつくることで、地域の経済活動を盛んにし、活力ある地域を形成していきます。			具体的な事業	・ 起業・創業の魅力を発信 ・ 事業者の新分野・新技術への進出支援 ・ 里山環境の活用と保全 ・ デジタルシフトの推進／市役所の生産性の向上 ・ 行政サービスのデジタル化推進 等		
重要業績評価指標（KPI）				現状値 (計画開始時点)	実績値 (2025年度)	目標値 (2027年度)	備考	
●居心地がいい場所と時間が町田市にあると思う市民の割合				76.4%	76.3%	81.5%	政策 3	
●行政手続きの利便性が向上したと感じる市民の割合				49.1%	67.6%	64.6%	基本方針 1	
取組結果		・ 「まちだ女性創業スクール」等の起業・創業の魅力を発信する創業推進イベントを実施するとともに、起業・創業に関する知識習得のためのセミナーや相談会、「まちだキッズアントレプレナーズスクール」など子どもを対象にした機運醸成イベントの実施などで、起業・創業希望者の裾野を拡大できました。 ・ 「町田市事業承継推進ネットワーク」の支援機関が連携しながら、資金調達のサポートやマッチングの支援を行うことで、事業承継累計完了件数は目標値（29件）を大きく上回る100件となりました。 ・ ハローワーク町田や町田商工会議所と連携し、市内事業者と就職希望者のマッチングを図る就職面接会や採用相談会を開催し、次代を担う人材の確保を支援しました。 ・ 町田薬師池公園四季彩の杜において、「春フェア」や「秋遊び」、FC町田ゼルビアとのコラボイベントなど季節ごとにイベントを開催し、来園者数は129万人となりました。 ・ 住まいの防犯対策補助金申請や公立小中学校の通学費補助金など、年間の申請件数が多い行政手続きを中心に、新たに199件の手続きのオンライン化を実施し、オンライン化した手続きの累計件数は752件となりました。			外部評価		・ 取組は順調に成果を上げており、KPIもそれに伴って上昇していると認識している。 ・ 町田市は大学が多いので、大学と連携してそれぞれの事業を進めることが出来れば、より市内経済の活性化につながる。 ・ スマート農業や小水力発電（水車）などを軸とした近未来型の里山を、従来の里山づくりと並列で進めて比較出来るようにすると、町田市ならではの違った魅力を発見できるのではないかと。 ・ トライアル認定制度でもAIやデジタル関連の商品が続々と出てきており、町田市内の事業者の質は高いと評価している。それぞれの取組に町田市ならではの商品をうまく関連させていけば、面白い展開につながる可能性を感じている。 ・ 行政においてもデジタル化が進んでおり、市民サービスでは申請手続きのオンライン化や窓口予約などDXが進み、市役所職員の業務においても生成AIが活用されるなど、業務の効率化が図られており、評価出来る。	
2025年度 寄附件数		12件	2025年度 寄附額	6,700,000円				

★基本目標 2

目標の名称	人々が交流するまちづくりを推進する		関連事業の名称	人々が交流するまちづくりを推進する事業		
事業概要	人々が集まる商業などの賑わい、文化芸術、スポーツ、地域づくりなど、地域資源をいかした町田発の取り組みを生み出す場や体制づくりを進め、多様な世代の活躍を実現します。また、これらの活動や交流の場を含むまちの魅力を発掘、創造、発信していき、多様な世代の活躍、交流を拡大していきます。			具体的な事業	・シティプロモーションの推進 ・シティセールスの推進 ・ホームタウンチーム等との連携の推進 ・地域活動団体支援 ・地域における福祉の困りごと相談支援体制の強化 ・中心市街地の賑わい空間の創出 等	
重要業績評価指標（KPI）			現状値 (計画開始時点)	実績値 (2025年度)	目標値 (2027年度)	備考
●居心地がいい場所と時間が町田市にあると思う市民の割合（再掲）			76.4%	76.3%	81.5%	政策 3
●市内で学習やスポーツに触れる機会があった市民の割合			32.9%	30.0%	43.1%	政策 4
●地域活動に参加したことがある市民の割合			25.8%	26.7%	34.3%	政策 6
●困ったときに助けてもらえる人がいる市民の割合			73.0%	78.2%	80.2%	政策 6
●自分らしく生活できている市民の割合			83.1%	82.6%	88.4%	政策 7
●市外の人に薦めたい場所が思い浮かぶ市民の割合			74.7%	76.6%	83.8%	政策 8
取組結果	・町田市がモデルのアニメと連携し、音声ARサービスを活用した市内回遊イベントやアニメ声優によるトークイベント等やホームタウンチームと連携したウォークイベント等を開催した結果、観光入込客数は前年を上回る615万人となりました。 ・ホームタウンチームのFC町田ゼルビアの天皇杯優勝や、ASVベスカドーラ町田の全日本フットサル選手権優勝などの活躍の機会を捉え、市庁舎での展示や町田駅前デッキの壁面装飾等を実施し、市民のホームタウンチームの認知度が77.9%まで上昇しました。 ・2025年4月に「まちだ福祉〇ごとサポートセンター町田」を開設し、市内全5地域での相談支援体制が整いました。各地域の身近な相談窓口として年間約9,000件の市民の困りごとの解決をサポートしました。 ・鶴見川流域の里山の風情が残る場所に大賀ハスの魅力を活かした、自然と水辺に親しめる「小山田蓮田緑地」が2025年7月にオープンしました。			外部評価	・FC町田ゼルビアやASVベスカドーラ町田の活躍等により、町田市に対する愛着や誇りも高まってきている。 ・住みよい、選ばれるまちになり、市民の間での連携が生まれつつあり、市として事業を進めるための土台作りが出来てきている。 ・「ポケふた」や「ふたマス」など、積極的に人気アニメ等とのコラボレーションを行うなど、シティプロモーションを活用することで町田市を訪れる人を増やすことに繋がっている。 ・町田ターミナルプラザ市民広場での路上活動など「誰もが気軽に」活動することが出来る場所が市内にもっと整備されると、文化芸術活動のさらなる発展が見込まれる。また、そういった活動を評価する仕組みがあれば、活動する人のモチベーションにも良い影響を与え、地域の活性化につながるのではないかと。 ・SNSなどによる情報発信も活用しながら、地域に眠っている資源を上手く活用し、観光地化することが出来れば、より魅力的なまちへと発展することが期待できる。	
2025年度 寄附件数	14件	2025年度 寄附額	7,955,415円			

★基本目標 3

目標の名称	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		関連事業の名称	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業		
事業概要	若い世代の結婚から出産・子育てなどの家庭を支えるための切れ目のない取り組みを進め、共働きでも仕事と両立しながら子育てしやすい環境、希望どおり子どもが持てる環境をつくります。			具体的な事業	・ 地域における相談支援の充実 ・ 送迎保育による多様な保育サービスの推進 ・ 保育の質の向上 ・ 新たな学校づくりの推進 ・ 学童保育クラブの整備 ・ えいごのまちだの推進 等	
重要業績評価指標（KPI）			現状値 (計画開始時点)	実績値 (2025年度)	目標値 (2027年度)	備考
●合計特殊出生率			1.21	1.04	1.30	政策 1 ※前年度数値を掲載。公表され次第差替予定
●子育てしやすいまちだと感じる市民の割合			64.8%	71.3%	70.9%	政策 1
●子どもがいきいきと育つ地域環境が整っていると思う市民の割合			53.0%	55.8%	63.2%	政策 2
●将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合			小6:82.8%	81.4%	87.1%	政策 2
			中3:67.6%	66.8%	75.0%	
取組結果	・ 産後ケア事業の利用可能な医療機関や訪問員を増やすなど、体制を強化した結果、1,447件の申請がありました。 ・ 2026年3月に市内8館目となる成瀬子どもクラブ「なるるん」がオープンし、子どもたちの声を取り入れてダンス練習のための大きな鏡や、バスケットボールができる天井の高いスペースを整備し、地域の子どもたちの新しい居場所となっています。 ・ 2025年4月には町田忠生小山エリア、10月には南エリアの給食センターが整備され、市立中学生全員に対する温かい給食の提供が実現しました。 ・ 2023年度から2025年度の3か年で取り組んできた「まちだ若者大作戦」では、若者の「やりたいこと」を30件実現しました。子ども・若者と行政の協働事業や、地域の大人が若者を後押しするといった活動が生まれており、若者の参画促進やまちづくりにつながる成果がありました。 ・ 新たな学校づくりを推進し、2025年4月に「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づく初めての統合校である「本町田ひなた小学校」と「成瀬小学校」が開校しました。			外部評価	・ 町田市の子育て世代に対する取組は全国的にも高い評価を受けており、それがKPIにも表れている。また、人口減少の幅が想定よりも少ない状況からも取組の成果が実を結んでいることが分かる。 ・ 今後も子育て世代に選ばれるまちでありつづけるためには、市内の住宅環境や交通環境にも目を向けていくことが重要である。 ・ 住宅の建ぺい率を緩和することなどが出来れば、これまで住宅購入が出来なかった人が住宅を購入することが出来るようになるなど住環境がより良くなる効果も期待できる。また、団地の活用など既存の資源を上手く活用するといった支援の形も検討していく必要がある。 ・ 既に子育て世代には選ばれるまちにはなっているので、「子育て支援のまち」という町田市の魅力をもっと発信した方が良いのではないか。町田市の人口の推移や若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる町であることについて、もっとアピールできると考える。	
2025年度 寄附件数	11件	2025年度 寄附額	5,494,138円			

★基本目標 4

目標の名称	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る		関連事業の名称	時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守る事業			
事業概要	健康づくりの拠点や支援体制の構築とともに、良好な住環境の形成を促進し、健康で充実して暮らせるまちづくりを進めます。また、限られた行政財源の下、市内の公共交通の質の向上と公共施設の拠点への集約を進め、日常生活の利便性を維持向上させていきます。			具体的な事業	・ 地域介護予防活動支援 ・ 大きな・速い交通の整備 ・ 避難行動要支援者の避難支援体制整備 ・ 都市計画道路の整備 ・ 公共施設再編の推進 ・ 市有財産の利活用 等		
重要業績評価指標（KPI）			現状値 (計画開始時点)	実績値 (2025年度)	目標値 (2027年度)	備考	
●生きがいを持って暮らしている高齢者の割合			76.4%	80.2%	81.5%	政策 5	
●市外の人に薦めたい場所が思い浮かぶ市民の割合（再掲）			74.7%	76.6%	83.8%	政策 8	
●日常生活に対して安心感をもつ市民の割合			67.3%	74.9%	74.9%	政策 9	
●公共施設の利用満足度			89.9%	69.5%	90.0%	基本方針 3	
取組結果	・ 町田市介護人材バンクにて、就職面接会やオンラインを含む就労相談、求職・求人アプリの運用、介護職員初任者研修の資格取得支援などを実施した結果、目標値の45人を上回る63人が就労につながりました。 ・ 町田市と相模原市をつなぐ新たな道路（都市計画道路3・4・41号線）が開通したことや多摩市へのアクセス道路（忠生630号線）の改良工事が完了したことで、より安全で快適な道路通行が可能となりました。 ・ JKK東京や自治会と連携した在宅避難に関するイベントを開催するとともに、発災時における生活環境の向上を目的として、マンション防災に関するリーフレットをイベント等を活用して配布しました。 ・ さまざまな分野に関する相談を1ヵ所で受け付ける総合相談会やネット広告機能を活用したSNS自殺防止相談事業などを実施した結果、人口10万人あたりの自殺死亡率は直近の3ヵ年平均で14.8となり、国や東京都の水準を下回りました。 ・ ビル・エネルギー管理システム（BEMS）を使って得られたデータを分析・活用することや、町田市バイオエネルギーセンターで発電された電力を使用することで、CO2排出量が大幅に減少しました。これらの取組により、市庁舎のCO2排出量は2020年度に比べ1,608 t 減少（87%減）しました。			外部評価	・ 取組は順調に成果を上げており、KPIもそれに伴って上昇している。 ・ 鶴川駅周辺の再開発によって渋滞緩和など市民の利便性向上が見込まれる。また、FC町田ゼルビアのホームスタジアムの玄関口として、小田急やゼルビアと連携しながら、さらに盛り上げていくことを期待している。 ・ 長期的にはモノレールの延伸を進めているが、短期的にはバス網の見直しなど、他の移動手段の検討も必要である。 ・ 町田では、団塊の世代よりも上の年代の方でも元気に活動されている方がたくさんいる。財政面や地域の活力といった様々な面からも市民の健康寿命の延伸が重要となる。これからは、病気になってから治療するという医療ではなく、健康診断の受診や健康な身体づくりに主眼を置いた医療という考え方がより重要になってくる。 ・ 地域の防災意識が高まってきている中で、災害を想定した在宅避難に関するイベントを行っていることは評価できる。イベント以外でも、災害時の避難行動などが地域住民に分かりやすく示される		
2025年度 寄附件数	5件	2025年度 寄附額	1,920,000円				